

RaySafe i2

仕様



i2 個人線量計

RaySafe i2 個人線量計は、毎秒の線量および線量率を測定および記録します。データは、無線でi2 リアルタイムディスプレイに転送されます。累積線量データは、時間ごとに5年間分を個人線量計に格納できます。線量率は、最後に被ばくを測定した1時間分を秒単位で格納します。本機器は、メンテナンスフリーであり、耐用年数は使用環境

により3から5年が予測されています。i2個人線量計は、適切にオンライン線量率を測定するため、鉛エプロンの外に着用してください。色と名前は自由に変更できます。

i2 リアルタイムディスプレイ

RaySafe i2 リアルタイムディスプレイは、10.4 インチのタッチスクリーンで、検査室に設置されます。通信範囲内にあるすべての個人線量計の線量測定値を一画面に8個分までリアルタイムに表示します。赤、黄、緑のカラーバーは、対数目盛りで線量率レベルを表します。各ユーザー別の累積線量がカラーバーの横に表示されます。



i2 リアルタイムディスプレイの機能

タッチスクリーン上で個人線量計の名前をタップすると、個人の被曝履歴に関する詳細情報にアクセスできます。

- 1 総被曝履歴とトリップメーターを表示する被曝線量ダッシュボード
- 2 年間被曝値と設定可能な年間被曝限界との関係
- 3 タイムスタンプの付いた線量履歴を示す詳細ビュー



RAYSAFE i2 の概要



RAYSAFE i2 被曝線量ビューア

RaySafe i2 被曝線量ビューアソフトウェアは、RaySafe i2 クレイドルに接続したままで、個人線量計を管理し、個人の被曝情報を表示するために使用されます。このソフトウェアでは、被曝履歴の表示、個人線量計の名前と色の変更、被曝履歴のリセットが可能です。

RAYSAFE i2 被曝線量マネージャ

RaySafe i2 被曝線量マネージャは、被曝線量情報を分析、レポート、保存する高度なソフトウェアです。i2被曝線量ビューアの機能に加えて、i2被曝線量マネージャは、複数の個人線量計に対応したり、病院ネットワークやUSBストレージ経由で複数のリアルタイムディスプレイから被曝情報を読み出すことができます。

仕様抜粋

個人線量計

重量	30 g
実用量	H _p (10)
X線の線量範囲	1μSv - 10 Sv
X線の線量分解能	1 μSv
X線の線量不確かさ	5%または1μSv
X線の線量率範囲と直線性	+/- 10% 40 μSv/h – 150 mSv/h +/- 20% 150 mSv/h – 300 mSv/h
X線とガンマ線のエネルギー範囲	N40 – N120 (33 keV – 101 keV)
個人線量計の平均寿命	3 - 5年間、毎日の使用状況に依存

リアルタイムディスプレイ

線量単位	Svまたはrem
寸法	300 x 250 x 60 mm
重量	1,240 g
ディスプレイ	10.4 インチタッチスクリーン
解像度	640 x 480 ピクセル
ストレージ	通信範囲内の個人線量計から受信したすべてのX線線量率(秒)と累積線量(時間)を保存。50個の個人線量計の290時間分の個人被曝情報を保存可能。
通信	個人線量計との無線通信
イーサネット	被曝線量マネージャ接続用 10/100 Mbit/sポート
電源	リアルタイムディスプレイは 120 V/230 V電源に接続

ソフトウェア要件

被曝線量マネージャ用PC

オペレーティングシステム	Windows 7、VistaまたはXP
動作メモリ	2 GB 以上
ハードディスクの空き容量	40 GB (15 GB以上の空き容量)
USB接続	2.0ポート x 1

被曝線量ビューア用PC

オペレーティングシステム	Windows 7、VistaまたはXP
動作メモリ	1 GB 以上
USB接続	2.0ポート x 1

i2 システム構成

個人線量計 x 4

リアルタイムディスプレイ x 1

クレイドル x 1

被曝線量ビューアソフトウェア x 1

ラック x 1

オーダーオプション

個人線量計追加

被曝線量マネージャソフトウェア

ラック